

特別活動指導案

1 主題名 「みんなで協力したあとの喜びを味わうアドベンチャー」
～「AFPY」の活動を通して他者理解を～

2 日時 平成18年11月 5校時

3 場所 オープンスペース

4 学級 1年2組生徒

5 授業者 1年2組 担任
山口県十種ヶ峰青少年野外活動センター

貞弘 氏
奥原 氏

6 学習のとらえ方

～自己防衛の人間関係から、誰をも大切に作る人間関係へ～

生徒数31名(男子15名・女子16名)、4月から欠席も少なく、毎日元気に登校している。2つの小学校からの入学で、その比率も半々である。入学当初すぐに仲良くなったが、集団生活をするなかで、徐々に人間関係が固定化してきた。自己主張の強い生徒から傷つけられたくないため、その生徒と共通の敵を作って自分の存在場所を確保するといった生徒が目立ち始めた。他者を傷つける軽率な言動が見られ、トラブルへと発展していくことが多々ある。

これまで、帰りの会や学級活動で、遊び(AF PY)の手法を取り入れた人間関係づくりを行ってきた。積極的に活動できる生徒、なかなか雰囲気には溶け込めない生徒等様々であるが、「みんなと過ごす楽しい」「協力することが大切」などといった感想が徐々に増えてきた。クラスの仲間の良さを理解し、他者を思いやる心が育まれるよう、今後もAF PYの手法を取り入れた活動を行っていき、その活動後だけでなく、普段の生活の中でよりよい行動へ移せるよう、一人ひとりの心の変化の過程を大切に、生徒の変容を見守ってきたい。

～みんなでできること、できたときの喜びを～

本時では、AF PY(やまぐちふれあいプログラム)から、「魔法のじゅうたん」(じゅうたんの上に人が乗り、じゅうたんから落ちることなく裏表を逆にする)を行う。この活動を1人で行うことから始まり、2人、4人と人数を増やす。最後には男子女子それぞれ全員で行う。

1人で取り組む時は、自分自身の考えや方法で行うことができるが、人数が増えるに従い、考え方や方法、個々のモチベーションも多様であり、課題解決に困難が伴ってくる。しかしながら、課題がクリアできたときの喜びや感動は大きいはずである。

まず自分たちで本時の目標を設定し、しっかりと他者を意識させながら活動を行うことで、仲間と共に活動することでどのような気持ちの変容があったか、一人ひとりに振り返りをしっかりさせたい。そして、仲間がいることで伴う問題点、それを乗り越えたときの喜びや楽しさ、達成感や充実感大きさを個人差があるにせよ味わわせたい。そしてこの気持ちを、今後のよりよい人間関係の構築へつなげていきたい。

～一人ひとりの気持ちの変容を大切に～

今回は、ティームティーチングで生徒の活動の支援をしていく。2人で、生徒達が活動する一人ひとりの活動の様子や発言をしっかりと観察し、生徒理解に努め、今後の支援のあり方への一助としたい。

特に次のことに留意し、生徒が目標を達成できるように支援していきたい。

- ・生徒が安心して活動できる人間同士の距離や場所を大切にする。
- ・活動中の生徒の発言や行動の様子を観察し、その場にあった言葉かけに努め、振り返りに生かしたい。
- ・振り返りは、まず一人ひとりの心の中でしっかりできるよう、周囲の気の合った者と意見を交換することから始めるなど雰囲気を大切にしたい。
- ・積極的に活動できない生徒については、無理に参加を強要するのではなく、その時の気持ちを大切に、本人が挑戦しようとする心の変化を待ちたい。

7 本時の学習計画

(1) 主眼 遊び (AFPY) の中で仲間を思いやる行動が、よりよい人間関係を構築することに気付ける。

(2) 準備物 新聞紙 ゴミ袋 シート 振り返りのポイントを書いた掲示カード

(3) 学習過程

学 習 内 容	支援上の留意点
<p>1 奥原先生の紹介を兼ねた、アイスブレイキング</p> <p>2 2人1組(ゴールモニタリングパート)で、今日1時間の目標を話し合う。 発問〈これからみんなで遊ぶ中で、どんなことを学習したか、大切にしたいか、今日の目標を考えてください。〉</p> <p>3 「魔法のじゅうたん」 〈活動の流れ〉</p> <p>* 1人 ① 新聞紙を全員に配り新聞紙の上に乗る。 ② 新聞紙の上に乗ったまま、床に足をつかずに新聞紙をひっくり返す。 ③ 行って感じたことを振り返る。</p> <p>* 2人 ① 1人の時と同様にゴミ袋の上で行う。 * 約束 人の上に乗らない 落ちたら最初からやり直す ・ 2人で行ってみて感じたことを2人で意見交換をする。 ◆ 振り返りのポイント ・ 1人で行うときとの違いは ・ どんな声が聞こえたか ・ うれしかった言葉は ・ 工夫したこと、気をつけたことは</p> <p>* 4人 ① これまでと同様に4人で行い振り返りをする。</p> <p>* 男子全員・女子全員 ① これまでと同様に男女それぞれ全員で行う。</p> <p>4 ゴールモニタリングパートで自分たちの活動を振り返る。 ・ 気付いたことを意見交換する ・ 2人組でどのような意見がでたか</p> <p>5 教員がそれぞれが最後に、生徒の様子を見ているの感想を伝える。</p>	<p>1 クラス全員が楽しい雰囲気になるようにその場に合わせ内容を変える。 ・ 積極的な生徒、消極的な生徒様々であると思うが、生徒一人ひとりの心の状態を尊重する。</p> <p>2 2人組は、自由に作る。 ・ 人数が合わないところは3人で。 ・ 考えつかない生徒には、前回行った活動(ラインナップ)を思い出させる。 → 「楽しくしたい・協力したい」など</p> <p>3 必ず1つ1つの活動の後に振り返られるように、「やってみてどうだった」などと生徒に声かけをする。</p> <p>・ 早くできた生徒には、紙を半分にして行うように指示をする。 ・ 様子や発言をしっかり観察する。 「すぐにできる・簡単・何も思わない」など</p> <p>・ 約束ごとを伝える。 ・ 生徒の様子・2人の距離など観察する。 ・ お互いどんな発言があったのか。 ・ 話し合いや作戦を立てるときも、必ず「じゅうたん」の上で行う。 ・ 振り返りのポイントを伝える。</p> <p>4 振り返りのポイントを確認する。 ・ 行ってみての感想 ・ 1人の時と、人数が増えたときの気持ちの変化 ・ 仲間の発言でうれしかったことは ・ 最初にたてた目標の達成度</p> <p>5 生徒の活動の様子や振り返りの発言をとりあげる。</p>